

海外グループ会社における取り組み

当社の海外グループ各社では、海外のパートナー様と連携を図るなど、それぞれの地域における特性やニーズに合ったプロダクトを開発・提供することで、お客様や社会・経済の持続可能な発展に貢献するとともに、環境活動を展開し、環境負荷の低減に努めています。

リペアサービスによる資源循環

Fujitsu Frontech North America, Inc. (FFNA：アメリカ)では、北米におけるメカコンポーネント、RFID、手のひら静脈認証装置、セルフチェックアウトシステムなどの事業を展開しています。

これらのほか、ニューヨーク州のプラッツバーグ工場では、2016年から、お客様に納品したメカコンポーネント製品の修理を行うリペアサービス事業を立ち上げ、取り組んでいます。

当事業は、お客様が使用する製品を、技量を備えた専門エンジニアが修理・再生することで、長期間使用し続けることを可能にします。

また、同じ製品を廃棄せずに使用し続けることは資源循環につながるため、昨今、欧州を中心に動きが活発化している「サーキュラーエコノミー*」の推進に貢献します。



修理現場



修理品の梱包現場

なお、当社グループでは、FFNAのほかに、国内の熊谷サービスソリューションセンター、海外のFUJITSU DIE-TECH OF THE PHILIPPINES CORPORATION (FDTP：フィリピン)、および富士通先端科技(上海)有限公司 (FFTS：中国)においても同様の事業をグローバルで展開しています。

*サーキュラーエコノミー（循環型経済）：

従来の「Take（資源を採掘して）」「Make（作って）」「Waste（捨てる）」というリニア（直線）型経済システムの中で活用されることなく「廃棄」されていた製品や原材料などを新たな「資源」と捉え廃棄物を出さず資源を循環させる経済の仕組み。

ソリューション・サービスビジネス -Solution Service Business-

ソリューション・サービスビジネスでは、システムライフサイクル全体を支えるサービスの共創（Co-creation）を通じ、先端技術により「コト」からの発想でトータルソリューションを展開しています。

ソリューション・サービスビジネスの取り組み

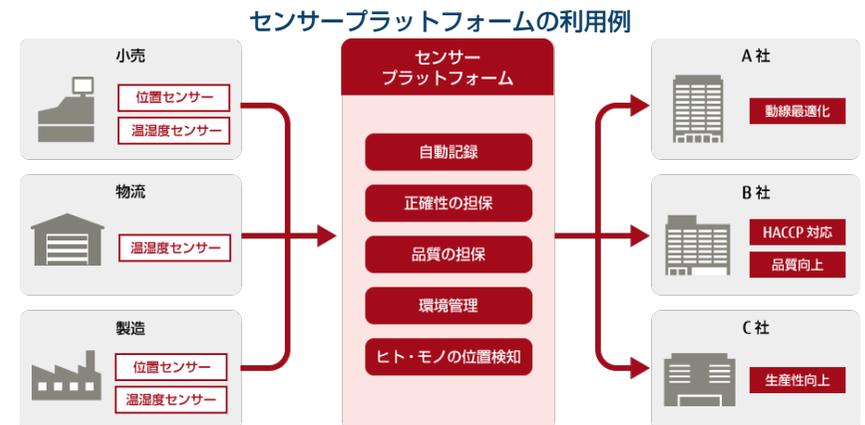
「太陽電池センサー付きビーコンセンサープラットフォーム標準サービス」は、小売・飲食・製造の各業種向けのIoT温湿度管理と位置情報提供のサービスです。現在、多くのお客様が品質担保の強化や人手不足などの課題を抱え、IoTソリューションのニーズが高まる中、当サービスは温湿度の自動記録、正確性の担保、アラート発報などの機能を搭載することで、これらの課題を解決します。とりわけ、2021年6月から完全義務化されるHACCP*への対応が必要なお客様の期待に応えます。

また、クリーンな太陽電池センサー仕様のため、メンテナンスフリーであるとともに、お客様の省エネにも貢献可能です。

* HACCP (Hazard Analysis and Critical Control Point)：

食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去または低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法。

当サービスが貢献するSDGsのゴール				貢献する要素
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と基盤施設の 発展をつくらう	12 つくる責任 つかう責任	Goal 7, 9：太陽電池搭載 Goal 8：安全な労働環境、人手不足解消 Goal 9：産業基盤づくりのツール Goal 12：HACCP対応、品質担保の強化



(詳細： <https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/solutions/business-technology/iot/sensor/>)